

広島市歯科医師会だより



10月号

Hiroshima City Dental Association

No.162 (R2.10.9)



目次

行事報告

令和2年度 第2回 四者協議会 1 ページ

令和2年度 新任学校歯科嘱託医研修会 1 ページ

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起っていますー(総務部) 2 ページ

RCCラジオおひるーなプラス！「広島家族。元気じゃけんいきいきプロジェクト」(地域歯科保健部) 3 ページ

FMちゅーピー(広報部) 3 ページ

ゆ〜ちゅ〜ぶはじめました(広報部) 4 ページ

今月の知っておきたいこと(広報部) 5 ページ

誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部) 7 ページ

各部委員自己紹介(広報部) (田中尊治委員長・福島整委員・三保浩一郎副委員長) 8 ページ

会員ひろば

新入会員紹介 11 ページ

会長コラム『柔しく剛く』 広島市による「広島は決して屈しない！プロジェクト」について 12 ページ

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み 13 ページ

9月定例理事会報告 14 ページ



クリスマスパーティー中止のお知らせ

例年お楽しみいただいています、広島市歯科医師会主催のクリスマスパーティーですが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、苦渋の選択ですが中止とさせていただきます。何卒よろしく願い申し上げます。

行事報告

令和2年度 第2回 四者協議会

日時：9月4日(金)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

本年度のよい歯の学校・児童表彰選考のため、広島市歯科医師会、広島市教育委員会、広島市立小学校長会、

広島市小学校教育研究会健康教育部会の代表で構成する標記会議を開催し、以下のように決定した。

1. 児童表彰の部

本年度は定期健康診断の実施が遅れているため、被表彰児童の選出基準は従来通りとするが、応募期限を例年より半年遅い12月24日とする。期限までに定期健康診断が実施できない場合、当該児童5年生時の定期健康診断結果を用いて同じ基準(ただし、乳歯は考慮しない)で選考する。

2. 学校表彰の部

優秀校	<u>特別支援学校(上田裕次先生)</u> 落合東小学校 古市小学校 矢野小学校	湯来西小学校 毘沙門台小学校 伴南小学校 五日市南小学校
優良校	<u>己斐東小学校(椿田直也先生)</u> 大塚小学校 伴東小学校	<u>東浄小学校(藤範恭弘先生)</u> 安西小学校 原小学校
努力校	<u>荒神町小学校(水内裕之先生)</u> <u>袋町小学校(荒谷恭史先生)</u> <u>江波小学校(山本亮先生)</u>	<u>山田小学校(二川陽子先生)</u> <u>中島小学校(津田祐一先生)</u> 三田小学校

令和2年度 新任学校歯科嘱託医研修会

日時：9月1日(火)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

令和2年度の定期健康診断への出務を前に、新入会員を対象とした標記の会が開催された。

研修では最初に濱岡代枝地域歯科保健部副委員長が、学校での健康診断の手順、診断基準やその記録方法などの基本的事項や「CO」及び「CO要相談」などの診断を迷いやすい事項、「その他の疾病及び異常欄」や「学校歯科医所見欄」の使い方などを解説した。また、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、フェイスシールドまたはゴーグルの装着、グローブの受診者一人ひとりの交換、健診時の触診を避けることなどについて触れた。その他、広島県における児童虐待防止やデンタル・ネグレクトへの取り組みなども紹介し、健康診断の際にそれが疑われる児童等を発見した場合の対応についても説明した。

次に、石田一輝地域歯科保健部委員の指導により、実際の学校での健康診断を模した実習を行なった。石田委員が健康診断で準備される器具や感染予防への配慮などを説明した後に、フェイスシールドを装着し、ダブルミラーを用いて視野を確保したり、口腔内の照度を確保したりする方法をデモンストレーションし、それに倣って研修会参加者が相互実習を行った。実際に模擬的な健康診断を行った上での疑問点を解説することにより、参加者の理解は一層深まったものと思われる。最後に有馬隆地域歯科保健部理事による締めの挨拶で本研修会は終了した。

近年は学校での健康診断を経験しないまま入会に至る場合が少なくない。そのような会員に臨床とはやや異なる診断基準や学校保健の意義について周知することを目

的として、本会では以前よりこのような研修会を行っている。特に今年度は新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上での健康診断の実施となるため、所要時間が従来よりも大幅に増加することが予想されることから、事前の入念な準備が必要不可欠と考えられる。今後も健康診断の精度の向上のために、研修を充実させることにしている。



実習のデモをする石田一輝地域歯科保健部委員

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起こっています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：部分義歯の耐久年数と、保証期間を教えてください。

最近、保険診療で作った部分義歯の金具が折れた。その際、歯科医師からは金属疲労のような言い方をされた。今回の義歯は作製してから、3、4年経っていると思うが保証期間、耐久年数はどうなのか？同じ医院で自費の義歯も作製している。これも保証期間、耐久年数を知りたい。

(センター対応)

保険診療は国のルール上6か月経過すると新たに義歯を作製できることを伝えた。

自費診療に関しては契約ごとに異なるため、医師に耐久年数などを尋ねてみるよう勧めた。

(コメント)

義歯クラスプの破損は様々な原因で起こり得ます。金属の経年劣化に加え、調整を重ねたことによる金属疲労、金属の厚み不足等でも破損が起こります。原因を考察した上で、患者の理解を得られるように十分な説明を心がけましょう。

事例2：医療費が法外に高いので行政指導してほしい

医師が説明なしでエンドレスに痛い治療をする。医療費のお知らせが来て、法外な医療費になっていた。行政指導をして欲しい。

(センター対応)

当センターは医師を指導する公的機関ではない事を伝え、医療ADRを伝えるも「費用をかけてする事では

ない。行政が指導できてないなら医師のやりたい放題じゃないか！」と激高され電話を切られた。

(コメント)

治療を行う際には、治療費も含め事前に十分な説明を行い、患者に納得してもらう必要があります。また、後日患者には医療費通知が送られますので、請求間違い等が無いよう、細心の注意を払いましょう。

事例3：自費治療後、数か月で症状が再発した為、返金してほしい。

数か月前、上の奥歯に痛みがあり、抜髄してセラミックの治療を受けた。先月、その歯が一日中痛くて受診した所、レントゲンを撮り「奥歯の神経が4本あるので、もう一度、あけて再治療するしかない」といわれた。不信感しかなく通院を止めた。以後痛みで反対側しか噛めない。「自費補綴物管理保証書」をもらっているが、返金してもらえるか？

(センター対応)

一般論として、奥歯の根管の神経は3つだが、中には4つある場合があり、通常見つけにくい。「保証書」はセラミックに対するものと思われ、根管への保証書は聞いた事がないと伝え、医療介護仲裁センターの電話番号を教えた。

(コメント)

特に自費治療の場合、術後の短期間での症状再発は、患者のクレームにつながります。避けられない場合もあるので、患者に十分な説明を行い、保険診療費以外は無

料で対応するなど納得してもらえる対応を心がけましょう。

事例4：矯正歯科の引継ぎについて

通院していた矯正歯科の院長が亡くなった。別の歯科で治療の継続を求めると、以前のカルテがあれば良い、引継ぎが終了したら治療はできると言われた。どうしたら良いか。また、領収書は保存しており医療費控除は受けるつもりだが、返金に関するいい方法はあるのか。

(センターの対応)

引継ぎの内容がセンターではわからず、歯科医師会で確認するよう伝えた。

また、保険外の契約については消費生活センターで相談するよう伝えた。

(コメント)

治療は亡くなった前院長との契約だったため、他院での矯正治療継続は、また改めて契約し直す形になると思われます。

地域歯科保健部

RCCラジオおひる一なプラス！「広島家族。元気じゃけんいきいきプロジェクト」

日時：9月2日(水)午後2時10分

場所：RCC中国放送本社

広島市では、健康づくり計画「元気じゃけんひろしま21」の取り組みとして、「RCCラジオおひる一なプラス！」(月～金11:40～14:55)において働く世代の健康づくりをテーマとしたラジオ番組を放送しており、この度「働く世代の歯の健康」と題して、地域歯科保健部の若林大輔理事が出演した。

番組では、主に歯周病について触れ、歯周病の現状、歯周病と全身疾患との関連、8020運動について解説し、歯周病の予防にはセルフケアだけでなく、かかりつけの歯科医院での定期的なプロフェッショナルケアが重要性であることや、広島市で取り組んでいる節目年齢歯科健診についても説明した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による歯科受診控えについての質問があり、必要な歯科治療を先延ば

しにするデメリットや、口腔ケアは感染症の重症化予防に効果があること、歯科医院では従来、肝炎やHIVなどの感染予防を徹底しているが、これまで以上に感染予防に取り組んでいるので、安心して受診してほしいことなどを説明した。



広報部

FMラジオ「FMちゅーピー76.6MHz」



FMラジオ「FMちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

10月7日放送分

「虫歯にならないために」

広島市歯科医師会 大塚 道征氏

虫歯になりやすいところに注意しましょう。一つ目は、歯と歯の間。二つ目は歯と歯茎の境目。三つ目は奥歯のかみ合う溝の部分です。歯ブラシの毛先が開いてしまうと歯垢(しこう)の除去率は60%台まで落ちるといわれています。月に1回程度、小まめに交換しましょう。広島市歯科医師会の歯科医師、大塚道征さんが解説します。

10月18日放送分

「自分の歯で一生かむために」

広島市歯科医師会 山崎 利恵氏

人生100年時代。健康長寿で楽しく生活するために、自分の歯があることは重要です。人と語らい、食べ物をおいしく味わえる素晴らしさを長く実感したいものです。日ごろから口の健康状態に関心を持つことは大事。気付いた時には歯を次々と失うことがないように、まずはかかりつけ医を見つけましょう。広島市歯科医師会の歯科医師、山崎利恵さんが話します。



チャンネル登録をお願いします！

YouTube を開き「広島市歯科医師会広報」と検索してみてください。「広島市歯科医師会のロゴ」と「一般社団法人広島市歯科医師会から市民の皆様にお送りするチャンネルです」が見つけられるはずです。広報部では有用な情報を動画で提供する目的で YouTube チャンネルを開設しました。「FM ちゅーピー76.6MHz のお口の健康広場デンタルパーク」、7 月放送分からアップを始めましたのでご報告いたします。今後はラジオ番組のみならず幅広く広報活動に活用していく所存ですので、「チャンネル登録」(←ここ重要！)して有効にご活用ください。なお 6 年前に作成した昔のチャンネルと区別するために【公式】広島市歯科医師会 と【公式】をつけておりますので、間違わないようにこちらの方の「チャンネル登録」をお願いします。

8 月 5 日放送分

「早寝・早起き・朝ごはん」

広島市歯科医師会 豊田 育星氏

https://www.youtube.com/watch?v=gMlc_11XjWc



8 月 19 日放送分

「骨粗しょう症と歯科治療」

広島市歯科医師会 濱岡 代枝氏

<https://www.youtube.com/watch?v=I2Qx50xZBQc>



記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>



広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



今月の知っておきたいこと

▼液体とジェルタイプの除菌・消毒・手指洗浄用アルコールのエタノール濃度



国民生活センター(2020年9月17日)

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20200917_4.html

新型コロナウイルスの感染拡大により、除菌や消毒等を目的として使用するアルコールの需要が増え、ドラッグストア等の店頭では一時品薄となりましたが、現在は様々な商品がみられるようになってきました。手指からの新型コロナウイルスの除去には、流水と石けんでの手洗いが有効とされていますが、それができないときにアルコール消毒液(濃度70%~95%のエタノール)が有効であるとされており、アルコール需要の拡大が加速する中、PIO-NET には、新型コロナウイルスに関連した相談のうち、除菌や消毒等を目的とするアルコール含有商品について、「商品にアルコール濃度の表示がない」、「濃度が表示されているが本当だろうか」などといった商品の安全・品質や表示に関する相談情報が、2019年12月以降の約8カ月(2020年7月31日までの登録分)で689件寄せられています。当センターにも、2020年度に入り、各地消費生活センターからの除菌・消毒・手指洗浄用アルコールに関するテスト依頼が複数件あり、商品テストの結果、商品本体の表示等に問題がみられるものがありました。そのほかにも、消費者庁では2020年5月19日、アルコールを主成分とするハンドジェルにおける配合割合が大幅に表示を下回っていたとして、景品表示法に係る措置命令が行われました。そこで、現在販売されている除菌・消毒・手指洗浄用アルコール30銘柄(医薬部外品3銘柄、化粧品18銘柄、雑品9銘柄)を対象に、エタノール濃度や表示等を調べ、消費者に情報提供することとしました。

(以下上記リンク先参照)

[報告書本文] 液体とジェルタイプの除菌・消毒・手指洗浄用アルコールのエタノール濃度

http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20200917_4.pdf

▼緑茶1日4杯以上飲む高齢者は残存歯が多い傾向



日本歯科新聞(2020年9月17日)

http://www.dentalnews.co.jp/news/detail/2020/index.html#0915_10

65歳以上の高齢者では、緑茶を1日4杯以上飲んでいる人は、飲まない人よりも約1.6本多く歯が残っている。東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンター地域展開部門の相田潤教授らの調査分析によるもの。

● 東北大学プレスリリース 緑茶を1日4杯以上飲んでいる人で約1.6本の歯が多かった ~特に1か月に会う友人の数が少ない人に効果大~

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2020/09/press20200902-01-tooth.html>

緑茶にはカテキンやフッ化物(フッ素)が含まれるため、むし歯や歯周病を予防して歯の喪失を減らす可能性があることが報告されています。また、ソーシャルネットワークが豊かな人ほど、健康情報を得やすいことなどがあり、歯を失うリスクが低くなる可能性が報告されています。日本において緑茶は、誰かに会った時に飲まれることが多いですが、緑茶の摂取と歯の本数の関連についてソーシャルネットワークを考慮した報告は我々の知る限り存在しません。そこで本研究では、高齢者24,147人を対象に、緑茶を摂取しているほど歯が多いという関連が、ソーシャルネットワークの多寡により異なるかを検討しました。結果、1か月に10人以上の友人に会う高齢者は、友人に会わない高齢者に比べ、約2.6本多く歯が残っていました。また、緑茶を1日に4杯以上飲む高齢者は、緑茶を飲まない高齢者に比べ、約1.6本多く歯が残っていました。この効果は、特に1か月に会う友人の数が少ない高齢者で顕著に認められました。

ニュースピックアップ

▼L8020に関する論文が発表されました

株式会社キャンパスメディコ
2020年8月25日



<http://www.campusmedico.jp/topics/index.html?fbclid=IwAR0DMLerT4Z6IrEJBVny8M69NH5MGdQbt2uZ1uGIJyxUkml dKb4iSqTFtHs>

論文「口腔プロバイオティクス *Lactobacillus spp* で刺激された口腔粘膜上皮細胞における転写プロファイルの包括的な分析」[概要] L8020 乳酸菌は、R-1 や LG 21 と比較して口腔粘膜への付着能が非常に高く、また上皮のバリア機構の強化と抗ウイルス粘膜免疫の賦活化作用があるという可能性が示唆された。[コメント] L8020 乳酸菌の経口摂取によって口腔粘膜からのコロナウイルスなどのウイルス感染症の予防につながる事が期待できる。

◎広島大学歯学部二川浩樹教授の発表です。歯科業界からウイルス感染予防につながる研究は誇らしいですね。

▼来年末までに10億人接種 ロシアのワクチンで見通し

THE SANKEI NEWS 2020年9月12日



<https://www.sankei.com/life/news/200912/lif2009120008-n1.html>

ロシアが開発し、世界で初めて国家承認した新型コロナウイルス感染症のワクチン「スプートニクV」について、開発を支援するロシア政府系ファンドの直接投資基金(RDIF)は11日、今年から来年末にかけて世界で10億人以上が接種を受けるとの見通しを発表した。

◎このワクチンは、3段階目の臨床試験を省いて8月に承認を発表されたものですが、ワクチン自体の効果と副作用を考えると、安易な接種には不安が残ります。しかし、世界で必要とされているワクチンですから、他の製薬会社でも安全安心なワクチンを早く開発して欲しいものです。

▼英アストラゼネカのワクチンに副作用疑い

共同通信 2020年9月9日



<https://this.kijii.is/676201548959302753>

【ワシントン共同】英アストラゼネカが開発中の新型コロナウイルスのワクチンを巡り、臨床試験で接種した人に副作用が疑われる事例が発生し、米国内の臨床試験が中断していると米メディアが8日、報じた。

◎新型コロナウイルスワクチン開発で世界を一步リードしているとされていた同社ですが、大きな打撃です。一日も早く安全なワクチンを開発してほしいですね。

▼インフルワクチン接種、高齢者優先 10月1日から…他の人は10月26日から

yomiDr 2020年9月11日



https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200911-OYT1T50186/?catname=news-kaisetsu_news

加藤厚生労働相は11日の閣議後記者会見で、インフル

エンザワクチンの接種時期について、10月1日から65歳以上の高齢者ら定期接種の対象者が受け、10月26日以降はそれ以外の人が受けるよう求めるスケジュールを発表した。

◎新型コロナウイルス対策の一環で、インフルエンザワクチンの早期接種が必要とされていますが、早くに接種すると来年2月ごろには効果が切れてしまうのではないかと心配です。一冬のうちに2度接種する事は可能なのでしょうか？

▼外出自粛で「コロナ太り」の傾向…定期健診結果を分析、飲酒量も増加

yomiDr 2020年9月9日



https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200909-OYT1T50105/?catname=news-kaisetsu_news

新潟県内で新型コロナウイルス感染拡大の「第1波」が起きた3~5月、外出自粛などが続き、県民の体重が増えるなど健康面の影響が出ていたことが、県労働衛生医学協会(本部・新潟市中央区)が行った人間ドックや定期健診の結果分析でわかった。同協会は「緊急事態宣言によるステイホームが、多くの検査項目に影響を与えていることが確認された」としている。

◎「やっばりね」という感じです。家にいると普段以上になんとなく食べたり、なにげなく飲酒したりという機会が増えざるを得ません。自粛緩和となった今では、元通りになった人も多いでしょうが、当時の習慣が改善されずにそのままだったら、生活習慣病になってしまうかもしれません。

▼人々がマスクをするのは「他人への同調心理」…「他者への感染防止」を上回る

yomiDr 2020年9月9日



https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200909-OYT1T50190/?catname=news-kaisetsu_news

人々がマスクをする大きな要因は、他人への同調心理。同志社大の中谷内一也教授(社会心理学)らの研究グループは8月、そんな調査結果を公表した。調査は3月下旬、インターネットで1000人を対象にマスク着用の頻度を質問。

◎いかにも日本人らしい結果のように思われます。これが個人主義のアメリカだったら「人からうつされないように」という理由が第一になるかもしれません。この日本人独特の「目立ちたくない」心理がコロナウイルス感染拡大予防に貢献しているのではないのでしょうか。

▼「訳あってマスク着けられません」…感覚過敏、バッジやカード使って理解求める

yomiDr 2020年9月9日



https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200909-OYT1T50184/?catname=news-kaisetsu_news

自分だけマスクを着けていないと、周囲の視線に後ろめたさを感じ、他人が着けていないとちょっと胸がざわつく。そんな人は少なくないだろう。「なぜ、着けないんだ!」と、見知らぬ人らを過剰にとがめる「マスク警察」という言葉も登場したコロナ禍だが、訳あってできない人もいます。

◎発達障害の患者さんは感覚過敏となり、長時間マスクを着けられないそうです。世の中にはほかの原因で着けたくてもマスクを着けられない人も多いのではないのでしょうか。以前、花粉症やアレルギーでくしゃみや咳が出やすい人用にバッジが販売されていましたが、こういうグッズがないと人の迷惑を考えない人と区別が難しいのかもしれない。

▼頭痛、肌荒れ…マスクの悩み「1分でも外して」

産経ニュース 2020年9月2日

<https://www.sankei.com/life/news/200902/lif2009020012-n1.html>

新型コロナウイルスの流行によって、マスクの着用がすっかり定着した。感染を防ぐためとはいえ、マスクは息苦しい。マスクのトラブルと対処法を知り、新型コロナの存在を前提とした「新しい日常」を少しでも快適に過ごしたい。

◎感染の可能性が低い場所で、1時間に1分でもマスクを外すことが大事との結論でした。また、日傘や冷却スプレーを使うなどして体温の上昇を防ぐことや、熱中症予防のため、「喉が渴いた」と感じる前に水分補給することも重要だとしています。気を付けましょう。



▼医師「上司によく思われたかった」…病院カルテ改ざん、実績水増し

yomiDr 2020年9月12日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200912-OYTEW609028/?catname=news-kaisetsu_news

三重大付属病院(津市)の医師が手術で薬剤を投与したように電子カルテを改ざんし、診療報酬を不正請求していた問題で、伊佐地秀司病院長が11日、三重大で記者会見を開き、第三者委員会による調査結果を明らかにした。

◎カルテは治療内容の根拠となる重要な書類です。改ざんするなどもってのほかですが、他人に勝手に改ざんされていたか考えると、恐ろしいものがあります。書くときにはもちろんですが、たまには過去のカルテも見返して見る必要になるかもしれません。



▼勤務先歯科医院の金庫から150万円着服疑い、会計担当の25歳女を逮捕 滋賀県警

47NEWS 2020年8月18日



<https://www.47news.jp/localnews/medical/5152809.html>

滋賀県警彦根署は18日、業務上横領の疑いで滋賀県彦根市、会社員の女(25)を逮捕した。逮捕容疑は、昨年8月15日から今年1月28日ごろまでの間、当時勤めていた同市の歯科医院の手提げ金庫から65回にわたって売上金を着服し、計約150万円を横領した疑い。

◎歯科医院のスタッフが医院の売上金を着用していたようです。容疑者は会計担当で、診療報酬明細書から算出した収支が実際と合わないことに気づき、発覚したようです。医院の会計に関しては院長がしっかりチェックする必要があります。

▼医療費 昨年度は約43兆6000億円 3年連続最高更新 高齢化進展で

NHK NEWS WEB 2020年8月28日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200828/k10012588291000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_011

病気やけがの治療で全国の医療機関に支払われた昨年度・令和元年度の概算の医療費は、およそ43兆6000億円となり、高齢化の進展などに伴い、3年連続で過去最高を更新しました。

◎厚生労働省によると、高齢化や医療の高度化によって、医療費の増加傾向が続いているそうです。ただし、今回の結果は今年の3月までのものなので、新型コロナウイルスの影響はあまり出ておらず、今後は受診控えなどの影響がかなり出てくると予想されています。今後の動向に注視したいと思います。



▼ウズコロナ五輪へ調整会議が初会合 検討課題山積で「頭が痛い」

産経ニュース 2020年9月4日

<https://www.sankei.com/tokyo2020/news/200904/tko2009040001-n1.html>

来夏に延期された東京五輪・パラリンピックに向け、政府は4日、大会時の新型コロナウイルス対策を検討する調整会議の初会合を開いた。都の多羅尾光睦(たらお・みつちか)副知事や大会組織委員会の武藤敏郎事務総長に加え、厚生労働省や出入国在留管理庁などの担当者らが出席。

◎会議では、観客の皆さんが安心安全に大会を楽しむため、出入国の管理、検査医療体制等を検討することが重要であるとの結論となり、各組織が実効的なコロナ対策を打ち出す必要性が強調されました。中止か否かも含め、今後注目です。



広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

誰もが納得！ I Love 広島弁じゃけえ。

～第11回～ キッポってなんだ??

富士見太郎さんの歯科医院は今日も多くの患者さんで賑わっています。院内にはパーテーションがなく富士見さんの声が響き渡ります。声が大きい上に早口なのもあって患者さんのプライバシーはあったものではありません。慣れた患者になると隣の患者がどんな処置を受けているのか、それが難しい処置かどうか富士見さんの口調から分かるのです。20代の大学生Aさんは初めて富士見さんの医院を訪れました。待合室にこぼれるエアータービンの音、富士見さんの早口の広島弁に緊張は高まります。

富士見さんは現像から上がったAさんのオルソパントモグラフィーを見ながら水平埋伏智歯の抜歯を決めたようです。「Aさん。右下が咬んで痛いのは親知らずが真横を向いて、生えよう生えようとして横から押すのが原因じゃ

ねえ。抜歯せんといけん！」と。「い、今から抜くんですか？」Aさんは不安そうに尋ねます。「時間が掛かるので日を改めて予約を取りましょう」続けて術式の説明を続けます。「麻酔がしっかり効いた状態で歯茎をメスで切ります・・・(中略)・・・傷を縫合して終わります。傷口はそのうちキッポになって治癒しますから心配いりません」と。

Aさんの頭の中では親知らずを抜くことよりも、メスで切るという恐怖とキッポという耳慣れない言葉がグルングルン回ります。「メスで切る、メスで切る・・・キッポって、キッポって、キッポって・・・まさか切符のことじゃないよな・・・」

広島県をはじめとして山口県・岡山県・愛媛県では「傷跡・肉芽組織・瘢痕」の意味で老若男女問わず広くキッポを使います。「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編によると、キッポ・キッポー＝痘痕(あばた)(発音の極似するアバターではない(笑))とあります。また辞書によると痘痕(あばた)とは「天然痘がなおったあと。皮膚にぶつぶつと残る小さなくぼみ」とあります。「アバタもエクボ(痘痕も髒)」と言いますが、筆者はてっきりニキビの痕(あと)のことくらいに考えていました。実は天然痘の痕だったんですね。「広島県方言の研究」は昭和8年にまとめられたものなので、天然痘の痕が身近だったのかもしれませんが、現在の広島県で使われるキッポにそんな天然痘云々のニュアンスは微塵も感じられません。きっと時代の変化と共に意味合いも変化していった言葉なのでしょう。

天然痘ウイルスは人類が科学の力で根絶した最初の病原ウイルス(1980年)として有名です。新型コロナウイルスも根絶できることを信じて頑張りましょう！

※「該当歯と下顎管が近接しているが、富士見先生に抜けるのか？」といった質問にはお答えできません(笑)。

※参考文献「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。



各部署員自己紹介

田中尊治委員長

広報部委員長の田中尊治です。今回の自己紹介ですが、「己の人となりを語れ」ということで、私の経歴やプライベートについて書かせていただきます。

市歯会の会務に携わるきっかけとなったのは、当時総務部の理事をされていた熊谷先生(現市歯会会長)よりお誘いを受けたことからでした。当時の何もわかっていない私を、熊谷先生をはじめ総務部の先輩方は優しくご指導下さいました。心から感謝しています。その後、情報調査部、広報部と部署を変え、今期より広報部委員長を拝命致しました。

さて話は変わり、私の趣味ですが、昔は釣りやスキューバダイビングをしていましたが、この数年は一切していません。特に結婚してからは、休日は妻や子供のアッシー&メッシー&荷物持ち、それ以外の時間は自宅でインターネットという、陰キャな生活を送っていました。しかし、2年前に飼うことになった子犬、もとい「わが子」を散歩に連れて行くため、最近は陰キャな生活が改善されつつあります。「わが



実家の子犬とのツーショット

子」の名前はブルーといい、この子を迎える前までは、私が帰宅しても誰も迎えに来てくれなかったのですが、今はかわいいブルーが走って迎えに来てくれます。うちの家族はみんな「わが子」にメロメロです。

こんな私ですが、会務に携わるようになり、早13年となりました。「施されたら返し返す、恩返しです(by 大和田元常務 in 半沢直樹)」というわけではないですが、熊谷会長や会員の皆様に少しでも恩返しができるよう、これからも精進してまいります。よろしくお願い致します。



「わが子」と私

福島整委員

広島市歯科医師会の会員の皆様、いつもお世話になっております。広報部の福島整と申します。小学生のころから、現在まで、ずっと広島に在住しております。

広島市歯科医師会には、平成23年に、当時あった情報調査部に初めて委員を拝命いたしました。情報調査部は現在の広島市歯科医師会だよりのニュースピックアップの記事の作成や、広島市歯科医師会のホームページに歯科に関するニュースをアップロードするのが主な仕事でした。平成27年に情報調査部と、広報部が合併いたしまして、広報部の情報調査部門として、引き続き会員の皆様に有用な情報を提供することを目的とした活動を行ってきました。さらに、昨年からは、これまでの情報調査部門の仕事に加え、広島市歯科医師会だよりの校正等の、情報発信部門の役割も担当しております。毎月、校正の時期になると何度もだよりを読み、チェックを行うため、手元に届いただよりをあまり見る事がなくなってきたような気がいたします。それでも、きちんと製本されたものが手元にあるということは、様々な点で意義のある事ではないかなと思っております。

また、今年は新型コロナウイルスの影響で、5月以降委員会はZoomによるWeb会議となっておりますが、9月から再び歯科医師会館にて委員会を行っております。Web会議は歯科医師会館への移動の時間と手間が省ける上に、本題を議論するには比較的集中しやすく、効率的な方法かなと思います。ただ、メインの議題から外れた、ちょっとした雑談等が行いにくいところが少々さみしいところではあったかなと思います。これからの時代は、時と場合によって使い分けることも必要かなと思えました。

趣味に関してですが、私は幼少の頃から自己紹介するときに、これといった趣味がないため、いつも苦勞していた記憶があります。たまにドライブに行ったりはしていましたが、今回の新型コロナウイルスの為、



ここはどこでしょう。ヒント 九州



ここはどこでしょう。ヒント 日本海

あまり出かけることもなくなっていました。この度、ネタ作りのため、久しぶりに3密回避に十分注意を払ってドライブに行ってみました。体がなまりきっていたため、筋肉痛になってしまいましたが、自然の雄大さにふれ、良い気分転換になりました。日ごろから趣味をもって、運動をすることの大切さを痛感いたしました。

まだまだ未熟者ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

【答え】

ちなみに正解は、最初が「キャナルシティ博多」

次が「日御碕灯台（島根）」です。

三保浩一郎副委員長

広報部副委員長の三保浩一郎です。南区東雲で育った私は、広島学院中高に通い、柔道部の部活帰りに髪の毛ふっさふさで紅顔の美少年(???)だった当時の瓜生副会長から「ワシー人で歯医者になるのは寂しいけえ、お前も歯医者になれ！」と命じられた瞬間に運命が決まりました(笑)。運動部の上下関係は柔道の実力とは関係なく、絶対服従が原則なのです(笑)。高校生当時、転勤族だった父が単身赴任中の不摂生から身体を壊しており、「歯科医＝転勤のない職業」に映ったのもあるかもしれません。



鮎川誠氏と

1967年に生まれ、1994年に広島大学を卒業、2002年に南区東雲にて開業、2010年頃から体調変化を自覚、2011年ALSと確定診断、2012年にやむを得ず閉院しました。2016年に人工呼吸器を装着して以来、ピタリと病状進行が止まりましたので、あと30年は生きるつもりだし、生きられるでしょう(笑)。もちろんその間にはALSの根本治療が可能になる日が来るものと信じており、今から「身体が動くようになったら何をしようか？」と想像してはほくそ笑んでいます。

元気な頃の趣味はオートバイレースに柔道に美味しいものを腹一杯食べることで、オートバイレースの趣味については太田川誌上で披露させて頂いたり、趣味の総決算として本を執筆、自費出版したりしました。現在は身体が動かない上に嚥下も出来ないために中断中ですが、もちろんALSが治ったら即再開することでしょう(笑)。



スピーカーの自作中

湿っぽい話は苦手なので明るく現在の趣味の話をしてしましよう。身体は動かなくても聴覚には問題ありませんから、現在は音楽鑑賞とオーディオを趣味としています。小学一年生(1974年)の時にラジカセを手にして以来、オーディオ機器の持つ妖しい魅力に心を奪われ、中学生の頃にはお年玉を握りしめて第一産業のオーディオコーナーに駆けつけ、貸しレコード屋からカセットテープがどこよりも安かった懐かしのイエローチェーンへ直行したものです。大学生になるとLPレコードからCDの時代へと移行しましたが、他の遊びに興味に移ったのと時代の波に乗り遅れまくって、「CD＝車の中」の時期が続きました。アナログレコ

ードにはカートリッジによって音が変わったり、録音するカセットテープによって音が変わったりと「いじる」楽しみがありました。CDの登場と普及でそれらの楽しみが奪われ、結果オーディオメーカーの首を絞めた気がするの私だけでしょうか？

ALSにより自宅でパソコンに向かう時間が長くなると、iTunesで音楽を聴くためにオーディオ熱が再燃し始めたのです(笑)。USB-D/Aコンバーターはかつてのカートリッジのようにデジタルデータをアナログ信号に変換し、アンプを経て、スピーカーで音になってから耳(鼓膜)へ届きます。スピーカーはFOSTEX社の自作スピーカーユニットを選んで、自作の箱に組み付けると既製品とは違って聞こえるから不思議な上に愛着も増します。(実際には手を動かさないので私は部品選びと図面引きですが(笑))。アンプは中学生になった頃(1980年)に憧れた当時的高级品をやフオクで入手し、現在は4台のビンテージアンプと3組の自作スピーカーに囲まれて悦に入ります(笑)。因みに聴く音楽は中高校時代と変わらずROCKが中心なので、初志貫徹というか進歩がありませんね(笑)。古いROCKと古いオーディオに興味をお持ちの先生は声を掛けていただければと思います。

広報部では多くの経験をさせて頂いております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



憧れのマランツのパワーアンプ

会員ひろば

新入会員紹介



鎌田浩一

広島市歯科医師会の皆様におかれましてはますますのご清祥の事とお慶び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました鎌田浩一と申します。私は、松本歯科大学を卒業後、広島大学先端歯科補綴学研究室に在籍し、広島市の開業医に勤務を経て、鎌田歯科クリニックにて同じく会員である父の鎌田一道とともに診療しております。

入会に際しましては、多くの先生方にご指導、ご助言いただき誠にありがとうございます。この場をお借りして心より御礼申し上げます。まだまだ未熟者で皆様にご迷惑をお掛けしますが、地域医療に貢献できるように精進していきたくと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



細川由紀子

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会させて頂きました細川由紀子と申します。

私は、東京歯科大学卒業後、千葉県で臨床研修医、勤務医4年を経て広島の地へ戻ってまいりました。1年半ほど安佐南区で勤務医としてお世話になり、その後、父が診療する中区の辻歯科医院で勤務をしてもうすぐ8年となります。その間、山口県に嫁ぎ、二人の子を連れ、広島と山口とを行ったり来たりの生活もなんとか落ち着いてきました。

入会に際しまして、諸先生方にご助言、ご指導を賜り誠にありがとうございました。微力ではございますが、地域医療に貢献できるよう頑張っって参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

柔しく剛く

広島市による
「広島は決して屈しない！
プロジェクト」について
熊谷 宏

ご承知のとおり、現在先生方に N95 マスクを大量に配布させていただいております。実は、これは広島市からの助成金により購入したものです。

本年 6 月ごろ、広島市の宮城昌治先生(健康福祉局医務監兼保険年金課保健指導担当課長兼健康推進課保健指導担当課長)より、新型コロナウイルス影響事業者緊急支援事業「広島は決して屈しない！プロジェクト」の存在を情報提供いただきました。

これは、広島市経済観光局が実施するもので、医療関係の部署が行う事業ではありません。その概要は、「新型コロナウイルスの影響を受けている事業者に対する共助の精神に立った支援の取り組みを行う支援者に、必要な経費の一部を補助します」というものです。

この助成を受けた事例を見ると、①広島県菓子工業組合が、菓子店で使えるプレミアム付き商品券の発行を行うための助成、②株式会社マリーナホッププロパティが、テレビ番組、CM、ウェブサイトを活用した PR を行うことへの支援などがありました。

この助成金の凄いところは、補助率(事業実施費用に対する助成金の割合)が5分の4以内という、高い補助率であることです。通常行政の行う助成金事業の補助率は2分の1以内というのが普通で、半分はこちらの負担になります。実際、毎年本会が行っている、おくちの健康展などの口腔衛生事業は、半分が広島市の補助金、

半分が本会の負担で行っています。

もう一点、この事業には大きな魅力があります。この事業の交付決定を受けることができたなら、「影響事業者が感染拡大防止を図りながら営業活動を回復していくのに必要となるマスクなどを購入する費用に対する新

たな補助」が別途用意されていることです。しかもその補助率は10分の10、100%が助成されるのです。広島市歯科医師会の規模だと400万円が補助限度額なので、400万円分のマスクが行政のお金で買えることになります。

そこで、なんとか本会としてこの助成金を申請したいと思い、以下のような事業計画を立てて申請しました。

「新型コロナウイルス感染拡大により、歯科医院受診抑制が起こり、広島市歯科医師会所属の歯科医院経営は厳しくなっている。一方、市民が必要であるにも関わらず受診を控えることは、口腔の不衛生につながり、細菌性の肺炎リスクがあがるので、新型コロナウイルス性肺炎に罹患した際重症化しやすくなる。そこで、①歯科医院ではコロナ対応をきちんと講じているので感染のリスクは低い。②コロナ肺炎の重症化とおくちの健康は関係する。ということを啓発する動画を製作し、YouTube等で公開する。このことにより、歯科医療体制の崩壊を防ぐとともに、ひいてはおくちの

健康を通じて広島市民を新型コロナウイルス感染症の重症化から守ることを目的とする。」というものです。

そうしたところ、幸いにも申請が受理され、新型コロナウイルス影響事業者緊急支援事業本体で440万円、マスク購入費用で400万円の合計840万円の助成金を頂くことができました。

その費用で購入したN95マスクを今回配布しているということです。

また今回は、「株式会社 CampusMedico」から広島大学歯学部の二川浩樹教授が開発した「Etak フルプロテクション ZERO 2L」を寄贈頂いたので、一緒に配布しています。

二川教授、株式会社 CampusMedicoの高田社長に改めて厚く御礼申し上げるとともに、会員の先生方には、N95マスクと併せて有効利用していただけると祈っています。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2020年9月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2020年9月1日～9月31日)

世界・日本での経過	2020年	広島市歯科医師会での対応
「差別」感じる医療従事者、4月から倍増(日本医労連)	9月1日	
感染状況は緩やかな下降続くも、大阪などで注意必要(厚労省アドバイザーボード)	9月2日	RCC ラジオおひる一なプラス収録
”英国ワクチン”日本国内での臨床試験開始	9月4日	
第2波コロナ致死率「0.9%」と大きく減る(国立感染症研究所)	9月4日	広島市口腔外バキューム整備促進事業協議
インド感染者数420万人超、ブラジルを抜いて世界2番目	9月7日	
米オートバイ集会で26万人集団感染か	9月10日	
Go To トラベル、東京を来月1日より対象に	9月11日	おくちの健康展代替案検討会議 広島市口腔外バキューム整備促進事業協議
飲食店利用者”感染割合2倍”米CDC調査	9月12日	
イスラエル感染再拡大”再び都市封鎖”決定	9月14日	N95マスク・イータック®フルプロテクションZERO 2L・フマキラー(株)製「アルコール消毒きれいな手200mL」の配布開始
世界の新型コロナウイルス感染者3000万人超(ジョンズ・ホプキンス大学)	9月18日	
制限緩和。今日から5000人超イベント可能に	9月19日	
アメリカで死者20万人超	9月23日	
コロナ感染者数、減少に鈍化が見られると分析(厚労省アドバイザー・ボード)	9月24日	中国歯科用品商協同組合加盟歯科商店対象「口腔外バキューム整備促進事業」説明会
	9月25日	広島市との協議
新型コロナ、インフル同時流行に備え相談や検査体制変更へ(厚労省)	9月28日	「広島は決して屈しない！プロジェクト」第2号承認
先行き不透明感、基準地価3年ぶり下落	9月29日	
世界の感染者3347万人	9月30日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体
※以前のものは前号参照

9月定例理事会報告

「部外報告」

- 8月27日 広島県歯科医師国保組合理事会
- 9月3日 広島市国民健康保険事業の運営に関する協議会
- 9月3日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 9月4日 第2回四者協議会
- 9月7日 広島市医療安全推進協議会
- 9月11日 広島市口腔外パキウム整備促進事業協議
- 9月13日 休日診療後期打合せ会
(歯科衛生士会)
- 9月17日 (県) 税務指導者協議会
- 9月18-24日 社会保険診療報酬支払基金審査
(合議24日)
- 9月18日 広島県国保連合会歯科再審査部会
- 9月19-23日 広島県国保連合会歯科審査部会

(連盟関係)

「総務関係」

- 9月11日 第3回おくちの健康展代替案検討会議
- 9月11日 滅菌事業打合せ
- 9月18日 三役会
- 9月23日 定例理事会

(慶弔関係)

(入会退会関係)

- 9月11日 入会前面談(土江雄治朗先生)

(県歯理事会関係)

- 9月3日 県歯理事会

(1) 総務部(森本理事)

- 9月1日 休日診療レセプト点検
- 9月7日 (延期)医療安全推進協議会
- 9月8日 定例委員会
- 9月9日 (県)保険部常任委員会
- 9月11日 入会前面談(土江雄治朗先生)
- 9月17日 (県)税務指導者協議会

(2) 学術部(花岡理事)

- 9月11日 定例委員会 学術講演会について

(3) 厚生部(谷理事)

- 9月2日 定例委員会

(4) 地域歯科保健部

- 9月9日 (県)地域保健部、学校保健部、介護・福祉医療部常任委員会
- 9月11日 第3回おくちの健康展代替案検討会議
- 9月18日 定例委員会

<学校保健> (有馬理事)

- 9月1日 新任学校歯科嘱託医研修会
- 9月3日 (南区地対協)青崎・新町地区多職種連携会議

- 9月4日 第2回四者協議会
- 9月10日 (県)広島県教育委員会との協議
- 9月18日 滅菌事業打合せ
 - ・令和2年度定期健康診断について
 - ・令和2年度広島市立保育園歯科健康診断について
 - ・令和2年度学校歯科医協議会代替行事について
 - ・令和2年度就学時健康診断について

<地域保健> (若林理事)

- 9月2日 R C Cラジオおひる一なプラス収録
- 9月13日 休日診療後期打合せ会
(歯科衛生士会)

<地域連携> (藤田理事)

- 8月31日 広島市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会
- 9月10日 西区地域ケアマネジメント会議
- 9月16日 三篠小学校健診
- 9月17日 西区介護認定審査会

(5) 広報部(水内理事)

- 9月3日 校正委員会
- 9月7日 アトラクトワン瀧本氏と相談
(新型コロナ動画作成について)
- 9月11日 第3回おくちの健康展代替案検討会議
- 9月15日 情報調査委員会
- 9月17日 FMちゅーピー収録

FMちゅーピー(新聞掲載)

- 10月7日 「むし歯にならないためには」
広島市歯科医師会
大塚 道征氏
- 10月21日 「噛むことの大切さ・一生自分の歯で噛むために」
広島市歯科医師会
山崎 利恵氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数
- 一般サイト 訪問者 1,749 (累計 158,787)
- ページビュー 33,595 (累計 649,909)
- 会員サイト 訪問者 296 (累計 30,510)
- ページビュー 1,537 (累計 224,590)
- 広報部 … Talking Heads<最新情報>
掲載件数 39件(8/21~9/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 歯科医療安全相談

- 9月5日 苦情 ブリッジ料金について(男性)
- 9月17日 相談 節目年齢歯科健診費用について
(35歳男性)

「協議事項」

- (1) 会費について (2名)
終身会員資格取得について2名承認。
- (2) 入会について
南区支部の土江雄治朗氏の入会について承認。
- (3) 学術講演会について
10月17日講演会の内容確認
- (4) 新年互礼会について
協議、継続審議
- (5) カーブ観戦について
10月18日開催決定

- (6) おくちの健康展代替動画について
協議、継続審議
(10月以降準備出来次第作成に取り掛かる)
 - (7) 広島市立学校、保育園等への歯科保健資料の寄贈
について
協議、確認、承認
 - (8) その他
医療機関等の医療従事者・職員に対する
慰労金受領に関わる実績報告書について
- 「その他」
特になし

9月まででクールビズが終了いたしました。10月以降はネクタイ着用等、来館時の服装に気を付けてください。

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net
広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月 25 日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

